

## 献辞

ここに、畑肇先生の退職記念論文集を献呈することができ、まことに慶びにたえません。

畑肇先生は一九三一年八月に朝鮮半島の忠清南道大田府でお生まれになり、一九五八年三月に同志社大学法学部法律学科を御卒業後、同大学院法学研究科私法学専攻を修了され、ただちに、同志社大学法学部助手になられました。その後も、専任講師、助教授、教授、大学院前期課程教授、同後期課程教授と昇進され、二〇〇〇年三月に退職されるまで、その同志社生活は実に四六年の長きにわたります。

先生は、商法の専門家として会社法や手形法・小切手法等の分野で多くの著作を公表されますとともに、一九七三年にはストラスブルグ大学に留学され、フランス商法の研究を深められました。学内にあっては、一九八一年度に法学部長として学部の発展に御尽力されますとともに、他の年度においても、学生部長、図書館長、人文科学研究所長、大学評議員等の数々の要職を歴任されました。学外では、一九七七年から一九九年までの二二年間、日本私法学会理事として活躍されました。

先生はとてもテニスがお上手で、運動をよくされるせいか、いつも若々しく、すばらしいスタイルをされています。私達後輩の方が元気の点で負けているのではないのでしょうか。明朗で、誰にでもきさく

に接してくださる先生を慕って、講義・ゼミ等に多くの学生がつめかけ、先生はまさに自らの半生を投じて数多くの同志社人を育てられました。先生は、請われて二〇〇〇年四月から徳島文理大学に移られました。今後ますますの御健勝と御活躍を法学部教職員・学生一同とともに心からお祈り申し上げます。

二〇〇〇二年三月

田 井 義 信  
法 学 部 長